

駐箚エルサルバドル共和国特命全権大使として早や1年が経過しました。この1年間を少し振り返りたいと思います。

敷居の低い大使館を目指して在留邦人の方々との交流を進めつつ、また日本に知見のあるエルサルバドル人との交流を深化させて、アミーゴ会を作りました。大使館のfacebookを開始、特に日本文化を中心に発信し、またホームページも当国政治、経済、産業、治安状況、月報など最新情報を提供すべく日々改善しております。

政治面では3月の国会議員選挙、市長選挙の結果、与党が大敗し、19年2月の大統領選挙への影響、政策につき構築した人脈を駆使して情報収集をしております。また、当国のあるべき姿につき社会経済発展の観点からマクロ、ミクロ面での考察を政府や民間部門に発表し関係者の新たな気づきに期待しております。

日本企業による新規投資はありませんでしたが、現在8社の投資、3社の支店登録があり日本企業と更に交流を深耕し新規投資を推進しています。エルサルバドルならではの産業を調査し投資やビジネス発掘を進めています。現状当国産業アイデンティティとしては地熱発電、高品質コーヒー、航空機整備事業があり、今後医療都市等へのサービス業への投資の機会、高品質カオの対日輸出などを促進していきたいと考えております。

開発協力の面では、草の根支援は学校、上水を中心に継続発展させ、シナジーを求め面展開を行うよう他国ドナーや国際機関との協働を目指しております。また、教育・保健向上、治安改善他に加え農業技術協力、地熱井開発協力、新たな借款の可能性も関係者共々調査しております。協力事業の開所式や文化・スポーツイベントなどで平均月2回は各会場で挨拶させてもらい日本政府の中南米外交政策や日本人の資質等の説明も含め日本のプレゼンス向上に努めております。

治安面では政府による努力もあり徐々に改善しつつあるという認識です。幸い邦人の被害はありませんでした。危険地域・時間帯の情報をタイムリーに発出し自らの身を守る精神で情報共有に心がけておりますが、引き続き適度な緊張感を持って行動しましょう。

最後に、当国にご出張の際には是非とも当大使館と情報交換させて頂き少しでも皆様のお役に立てるように館員一同準備しております。また在留邦人の方々も気軽にお立寄り頂き情報交換をしながら、共生社会を更に推進していきたいと思っております。

日本国大使館
特命全權大使
樋口 和喜